

検討内容

1 入退院調整ルールの現状と課題について（資料2）

議題	情報提供書に本人・家族の同意欄がない。 同意欄を設けるか。
提案理由	医療機関から同意欄がないことの間い合わせあり。 平成31年のキックオフ以降同意欄がないことでの問題など聞いてはいない。 他圏域では別紙資料2のような欄を設けているものもある。
意見	<p>「設けた方がいい」</p> <p>理由 同意を得ていることを明記した方がよいから</p> <p>理由 同意を得た方がいいと思うが、サイン方式だと時間がかかるため簡素化したものがよい</p> <p>理由 同意を得た方がいいが、何らかの方法で同意を得ていなければならないが、同意を得ていなければ必要</p> <p>「設けなくてよい」</p> <p>理由 面会もままならない中、サインをいただくのが困難。この様式でこれまでも支障なし</p> <p>理由 介護保険の契約時に個人情報についての同意を得ている。介護報酬改定でも文書負担軽減や手続きの効率化で署名・押印の見直しを行っているため</p> <p>理由 他の文書で情報提供に係る同意を得ているのであれば、重複して同意を得る必要はない。</p>
今後の方針	何らかの方法で個人情報についての同意は得られていることや現在の様式で支障がないことから現在の様式を使用していく。

2 ルールの普及啓発と活用の推進に向けて

議題	各機関・各団体においてルールの普及啓発と活用の推進に向けて取り組んでいること、今後取り組めることについて教えてください。
提案理由	入退院調整ルールの共有・周知が不十分 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関から退院時情報提供書をもらったことがない。（ケアマネ） ・入院時情報提供書はどこにあるのか。（ケアマネ） ・ルールの運用後アンケート調査を依頼した際、「これは何？」との電話がソーシャルワーカーからあった。 上記のような声が聞かれているため
各団体の取組	<p><看護協会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供書の活用，退院時や必要時のサマリー等の発行 <p><介護支援専門員協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に感染創に留意した医療連携研修会の開催予定 ・アンケートなどの実施も検討中 <p><ソーシャルワーカー協会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している基礎研修(入職3年目までの方を対象とした研修)において，退院支援ルールについて説明を実施 ・今後，基礎研修での継続的な普及啓発と研修で理解した内容を所属機関へ伝達講習できるように取り組んでいく予定

各 団 体 の 取 組	<p><訪問看護ステーション協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所のケアマネに入院時に入院・入所時患者情報提供書での情報提供を依頼 ・医療機関からは情報提供書や看護サマリーで情報提供をいただいているため、連携ツールの統一が必要か今後検討をしていけたらと思う
	<p><市町の介護担当課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所連絡会を活用しての周知 ・医師会に委託している在宅医療・介護連携推進事業で周知等を行っている
	<p><地域包括支援センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネの研修会での周知 ・医療機関との連携について、各病院の相談員と情報共有を図る ・退院カンファレンスに参加し支援の方向性を共有。訪問看護、ケアマネ等とも連携を図っている。身寄りのない方の支援が今後の課題と思う。
	<p><在宅医療支援センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、意見交換会を主催し「ルール運用アンケート」の結果報告を行っているので、今後も継続していきたい。 ・センターのホームページに「ルールについて」を掲載し、関係資料をダウンロードできるようにしている。 ・研修会等に出席されない職員への周知が難しいので、普及啓発のための動画やスライド等があれば活用してもらえないか。
今後の 方針	<p>地域振興局において、毎年ルール運用アンケート、結果の報告を引き続き行う。 各団体においては研修会や会議の場を活用し、ルールの周知に努めていく。</p>

3 医療機関のルール参加拡大に向けて

川内市医師会報 1月号に川薩地域入退院調整ルールの記事掲載（別添資料のとおり）